

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	高津区第1グループ(上作延・高津)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	高津区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 上作延こども文化センター ①年間延べ利用者数 30,963人 ②年間延べ利用団体数 409団体</p> <p>2 上作延小学校わくわくプラザ ①登録者数 301人 ②年間延べ利用者数 17,777人</p> <p>3 南原小学校わくわくプラザ ①登録者数 161人 ②年間延べ利用者数 9,579人</p> <p>1 高津こども文化センター ①年間延べ利用者数 44,436人 ②年間延べ利用団体数 175団体</p> <p>2 高津小学校わくわくプラザ ①登録者数 491人 ②年間延べ利用者数 36,479人</p> <p>3 下作延小学校わくわくプラザ ①登録者数 213人 ②年間延べ利用者数 14,519人</p> <p>4 久地小学校わくわくプラザ ①登録者数 455人 ②年間延べ利用者数 25,096人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 124,333,755</p> <p>2 支出 人件費 104,265,269 事務費 8,974,116 事業費 7,643,868 その他経費 94,340 合計 120,977,593</p> <p>3 差引 3,356,162</p>
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。事業者のスケールメリットを活かした交流行事・事業の実施。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 計画通り事業が推進され利用者数も増加している。高津区役所地域振興課と共催で音楽体験事業「歌とピアノのお楽しみコンサート」「おんがくかいいい」を開催した。地域住民の協力で畑で農作物を育て、収穫して食べる「食育の会」は15回実施された。また、運営協議会との共催で「こども文化センターまつり」「おもちゃまつり」「たこやきパーティー」等を実施する中ではこども実行委員が活躍したり小、中学生の異年齢交流が生まれている。大学生による「ジャグリング」「パネルシアター」も行われた。また、中学・高校生行事として希望があった「デモノート作り」「コンサート」を行い利用者数を増やしている。2館合同行事としてドッジボール大会を行い、学区をこえた交流が深まったことで、参加者は昨年度より62%増えた。独自のクラブ活動として「ひなたぼっこ」を月2回乳幼児の異年齢交流や親子の交流の場として開催した。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
<p>(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者還元している。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
(評価の理由) 地域に密着した事業の推進を図るためのこども文化センター運営協議会を実施し、保護者懇談会を保護者と連携を図りながら定期的に開催した。また、小学校との連絡会を持ったり、保護者の了解を取って保育園時代の保育士や養護学校の教諭との連絡をとり、特別な支援を必要とする児童の対応方法を学ぶなど行っている。アンケートや意見箱の活用、こども会議の開催回数を増やすなどして、意見の吸い上げを行い、映画会上映作品のリクエストや本の購入など、できることから実施し、意見の反映に努めている。そして日々の様々な連絡や児童の様子等を職員が共有するためのノートを用意し、情報の共有や対応の統一を図っている。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ利用の障がい児対応については適宜スタッフを配置しており、こども文化センター及びわくわくプラザ共に、提案どおり適正な職員配置がなされていた。財団主催の研修をはじめ様々な研修に参加し、館独自の研修も4・9回実施し職員のスキルアップを図り役だてている。個人情報等の取扱については、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 利用者が安全に利用できるように安全点検マニュアルに沿って施設・設備の安全点検を実施し、わくわくプラザでは修繕を行い環境整備に努めた。また、衛生管理については、衛生管理マニュアルに沿って、引き続き利用者の安全確保に努めていた。アレルギー対応として行事時に、食物の成分表示して保護者に必ず確認するようにした。各施設、避難経路や危険度が高い窓を優先に飛散防止フィルムを設置し施設の安全性を高めた。さらに各施設に非常食・保存水を追加で配備、新たにアレルギー児対応保存食を備蓄する等災害への備えも強化した。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、53施設の指定管理者として、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や職員研修、偏りのないサービスの提供が行えており、グループとしては、2館合同の野外活動を行ったり、ドッジボール大会を開催するなど、地域の要望を生かしたグループ合同行事や事業を展開できている。

また、各館においても、それぞれが利用者の独自の要望を取り入れ実施し、利用者の交流を促進し、利用者数の増加につなげた。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。